

あなたの考え・意見・提案が心と心を結び

お便り

コーナー



小林さん



宮川さん

日本人の平均寿命は、男73歳・女79歳。もはや世界でもトップクラスの長寿国となった日本人にとって、老後をいかに過ごすかは大きな課題です。現在、私は老後をおのづかのように過ごしている、又、このように過ごしたい、そんなお便りをいただきました。

あなたのお便りを

お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などを、どしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は 原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は——市役所広報広聴課
〒417 永田61-1
原稿締切日は、毎月15日です。



市政に対する意見や提言をみなさんから寄せいただくため、市長への手紙「わたしの提言」を公民館などの窓口においてあります。

あなたの意見や提言をお寄せください。

老後を生きる

今月のテーマ

文芸で学ぶ心の美

小林久子さん (56歳)

今泉八丁目

高齢化社会に向かい、核家族化が進む現在、私たち夫婦も息子夫婦と別居生活をしています。節度を守りつねに言葉を交わし合うよう心掛けています。

小康を保ちながら生を刻みゆく私にとっては、家の中が最高のオアシスです。市教育委員会主催による市民文芸に情熱を燃やす傍ら、書道に心を統一し、特に、詩に親しむ時の心はバラエティーに富んでいます。

身辺いたる所に顔をのぞかせている詩の芽を上手に摘み取る努力の積み重ねにより、明日の理想へ一歩でも前進しようと思います。繊細な感

テーマ

テーマ

■ 7月は「我が家の省エネ対策」

クーラー・冷蔵庫・テレビなど7月から8月にかけて、その利用度は大幅に増加。暑いからといって、電力や水を必要以上に使うことは、貴重な資源のムダ使いに——。

省エネルギーが叫ばれて久しくなりますが、あなたの家庭での省エネ対策はいかがですか。節電・節水など、日ごろ心がけていることがありましたらお便りください。

■ 8月は「青少年非行を考える」

今や青少年非行は、戦後第3のピークを迎えた——といわれています。

万引き、校内暴力、覚せい剤汚染、売春行為など、テレビや新聞では連日のように取り上げられています。

最近の青少年非行の特徴として、低年齢化も見逃すことができません。

青少年非行の原因や背景としては、さまざまな意見があります。さて、あなたの考えはいかがですか。

覚の働きの中から生まれる作品は、人間の間に結ばれる絆や人を愛する心の豊さを培います。

自主性をもって、自分の可能性を伸ばし、いつも心を明るくしていることが大切だと思います。

高齢者事業団へ入会

宮川ちよさん (67歳)
長者町

体を動かすのが好きな私は、近くの保育園へパートにいていました。

ところが年とともに動きの早くなる子供達についていけなくなり、やめることにしました。

そこで、一時家でぶらぶらしていたのですが、近所に高齢者事業団へ入会している人がおり、話を聞いていたうちに自分でもやれそうな気がしたのでさっそく入会。

幸い、入会した翌日から仕事の依頼があり、出かけていったところ、大勢の仲間が楽しそうに仕事をしていました。

最近、ボケ老人の問題が叫ばれていますが、ボケを防ぐためには、趣

味とか仕事をもって体を動かすのが一番だと思います。

私の場合は高齢者事業団を通していろいろな仲間達と、わきあいあいと楽しく仕事をすることが、ボケを防ぐし、老後を生きる道だと思っています。

入山瀬の花咲じいさん

後藤 孚さん (83歳)
久沢東

昭和34年から25年間、身延線入山瀬駅の花だんづくりを続けています。

皇太子殿下のご成婚を記念して始めたのがキッカケ。昭和37年には、全日本花いっぱい大会において、全日本優良賞もいただきました。

6月といえば1年中で一番日の出の早い時期、毎朝目がさめると寝ていられません。朝の4時半に起き、地下たびに脚半をつけて、自転車で



△入山瀬駅の花だんを手入れする後藤さん

駅へ走る毎日です。早朝、1時間から2時間程の花だんの手入れは、気分爽快。駅を利用する人たちは、「花咲じいさん、お早よう！」と声をかけてくれます。

私の夢は、街中を花いっぱいにすることです。見渡す限りお花畑だったら、どんなに素晴らしいことでしょう。花を見ることによって、人の心もなごみます。これからも、ずっと花づくりを続けていこうと思います。「もう」や「あきらめ」はダメ。「まだ、まだ」という気持ちでいなければ……。年をとっても、つねに目標を持つことが大切です。

お茶摘みを初体験



こじま 児島静枝さん (42歳)
大淵(希望ヶ丘)

プロフィール

昭和54年に、三重県鈴鹿市から、御主人の転勤により富士市へ。ただいまテニスに凝っています—という、なかなかのスポーツウーマン。

御主人と、中2の長女と、3人家族です。

出身はどちらですか。

児島 千葉です。その後、主人の勤務の都合で東京・仙台・名古屋と移って、4年前に鈴鹿市から富士市へきました。

児島 それぞれ良い所があるので、一概に比較できないけど、仙台はもつと長く住んでいてもいいなあと感じました。

富士市へ住んでの感想は

児島 先日、近くの農家で茶摘みをやってみてみたい人はどうぞ、と呼びかけていただき、初めて経験しましたが、茶摘みの時はお化粧をしてはいけなかつた、いろいろ親切におしえてもらいやさしい人柄を感じました。又、富士山は、目の前にあるせいか、眺めると言うより、見上げると言う感じがですね。

行政に望むことは

児島 道路が狭いので広げてほしいことと、大淵地区へ図書館が欲しいですね。

お隣りが総合育精施設ですが

児島 ときどき、お手伝いがたら勉強させていただいています。それから、希望ヶ丘に公会堂ができてよかったです。